

香港・台湾のメディア・エージェントを招聘した
「瀬戸内周遊 グルメ・美術の旅商品造成事業」レポート

神戸運輸監理部 観光担当係長 武津 京佳

平成21年9月28日(月)～10月4日(日) Visit Japan Campaign (VJC) の平成21年度地方連携事業として、香港・台湾の旅行メディア・旅行エージェントを招聘した「瀬戸内周遊 グルメ・美術の旅商品造成事業」を、神戸運輸監理部・中国運輸局・四国運輸局の3局連携で実施しました。

神戸運輸監理部・中国運輸局・四国運輸局の3局が管轄する瀬戸内海地域は、多くの観光資源を有し、外国人旅行者数も着実に増加傾向にはあるものの、他地域と比べて、まだまだ海外での認知度が低く、旅行者数が少ないという現状にあります。

そこで、魅力的な旅行商品の企画・開発を支援するため、瀬戸内海沿岸地域が保有する風景・食文化を含む文化、美術等を紹介する視察ツアーを企画しました。特に、瀬戸内海沿岸の風土、情景をより身近に感じて貰うために、瀬戸内海の主要港である神戸港を起点として、旅客船を効果的に活用した行程としているのが特徴です。

全体の行程は右表のとおりで、香港及び台湾から、旅行エージェント各3社(3名) 旅行関係のメディア各3社(3名)の合計12名を招聘し、神戸運輸監理部、中国運輸局、四国運輸局の他、兵庫県、神戸市、愛媛県、山口県、広島県、岡山県の各自治体及び地域観光関係者の連携、協力の下に実施されました。

本レポートでは、これらの行程のうち当神戸運輸監理部が随行した初日と最後の2日間についてご紹介します。

9月28日(月)

初日の行程は、航空便の関係で香港からの招聘者6名の関西国際空港到着が夕刻となっ
てしまったため、日中の行程は台湾からの招聘者6名のみで実施することとなりました。

台湾の一行が最初に訪れたのが宝塚。宝塚大劇場にてレビューを観劇、その後、近隣の「手塚治虫記念館」を視察。特にメディア関係の記者にはことのほか好評で、「また観劇したい」「ツアーに

行程表	
9月28日 (月)	宝塚歌劇 手塚治虫記念館 六甲ガーデンテラス(ジギスカンパレス) ダイヤモンドフェリー(船中泊)
9月29日 (火)	今治国際ホテル(朝食) サンライズ糸山 (レンタサイクルで来島大橋渡橋) 吉海レンタサイクル 大山祇神社 千年松 亀老山展望台 道後温泉本館等 ホテル八千代(道後温泉)
9月30日 (水)	松山城 (フェリーで三津浜港 柳井港) 防府天満宮 ホテルかめ福(湯田温泉)
10月1日 (木)	瑠璃光寺 (観光船で宮島へ) 厳島神社 (高速船で宇品へ) ひろしま美術館 平和祈念公園・資料館 牡蠣亭 リーガロイヤルホテル広島
10月2日 (金)	(フェリーで直島・宮浦港へ) テラスレストラン ベネッセミュージアム 地中美術館 (フェリーで宇野港へ) 大原美術館 御園旅館
10月3日 (土)	姫路城 ホテル セトレ(イタリアンレストラン「ミア・アルベルゴ」) 白鶴美術館 香雪美術館 ホテル ラ・スイート 神戸 神戸メリケンパークオリエンタルホテル(商談会)
10月4日 (日)	ビエンナーレ・メリケンパーク会場 神戸市内(元町～三宮)散策 神戸プレジール ビエンナーレ神戸港会場(遊覧船から) ビエンナーレ県立美術館会場

組み込みたい」「写真禁止であったため、PR用の写真を送ってほしい」「チケットはとれるのか」等大変良い反響でした。

その後、六甲ガーデンテラスで、夕刻に到着した香港一行と合流して、六甲山から見下ろす神戸の夜景を見ながらの夕食。世界三大夜景の一つの香港の方にも「ビューティフル」と評していただき、その美しさを堪能。そして、大阪南港からダイヤモンドフェリーの「さんふらわあこがね」に乗船し、船中泊を楽しみながら次の目的地である松山へ向かいました。

10月3日(土)

初めに、姫路城を見学。さすがに世界遺産ということもあり、既に訪問したことがある方もいましたが、天守閣からの眺望を楽しみ、姫路城の美しさや城内の展示物(火縄銃等)などに興味があるのかカメラにおさめる姿が印象的でした。

その後、バスで、昼食場所であるホテルセトレに移動。ここからは明石海峡大橋の全景が見え、散歩しながら、「景色もよく、潮風に吹かれて気持ちよかった」との声も。

昼食後、白鶴美術館及び香雪美術館を見学しましたが、中国と関係した美術品は、自国でも鑑賞できるのであまり興味をもてないようでした。



姫路城を見学



商談会で各ホテルを紹介

ツアー最後の夜は、夕食会も兼ねた商談会を開催。参加者は、ホテル等14社19名、神戸国際観光コンベンション協会1名にツアー行及び関係者を含めた合計39名。招聘者や各ホテルの紹介をしながら、歓談しつつ、和やかに商談が進行。宿泊先ホテル ラ・スイートから商談会場のメリケンパークオリエンタルホテル間は徒歩で移動し、ハーバーランド・モザイクのイルミネーションなど夜の神戸港の情景を楽しんでもらい、ホテル ラ・スイートについても、「部屋が広くて快適」「予約はとりやすいのか」等の声が寄せられ、大絶賛でした。

10月4日(日)

最終日は、ビエンナーレの視察から始まり、昼食場所まで街歩きしつつ、ショッピング。おみやげ等多数購入された方もおり、神戸ビーフと神戸市内観光を満喫。その後、船に乗船し、県立美術館へ移動。この海上ルートでの移動は、船内パフォーマンスもあり、大好評でした。

今回のVJCを通して、一人でも多くの香港・台湾の人が神戸・瀬戸内を訪れ、その魅力を広めていただき、さらに、神戸・瀬戸内地域が活性化していくこと期待しつつ、全行程は無事に終了しました。

今後も神戸運輸監理部では、関係機関と連携して観光立国の実現そしてクルーズを展望した神戸・瀬戸内の魅力発信に努めていきます。



ビエンナーレを視察